

サビエル生誕五百年



巡礼の道

510

藤屋 侃士  
(下松市幸ヶ丘)

# イエス誕生の地(上)

## 新約聖書の出来事③

イスラエルが首都とカ書五章に「エフラタするエルサレムから南のベツレヘムよ、お前へ約十<sup>レ</sup>、小高い丘のはユダの氏族の中でい上にあるベツレヘム。と小さき者。お前の中ここがイエス生誕の地から、わたしのためにと言われる。旧約聖書 イスラエルを治める者で預言されたことが新が出来る」と預言し、人々約聖書で成就される：はベツレヘムに救い主これがキリスト教の見がお生まれになると信解で、ベツレヘムでイエスが生誕したこともその一例だ。

紀元前八世紀の預言の三人の占星術学者が星に導かれてベツレヘムに生まれた救い主を



要塞のような現存の聖誕教会

拝みに来たところある。こうして旧約の預言が新約の世界で成就する。

イエスが誕生したとされる地下洞窟の上には、三二五年にローマ皇帝コンスタ



正面の入り口は立ったままでは入れない

現在の床の下のモザイクの床

ンティヌスの母、へらしく進むとナによって聖誕教会が地下へ降り建てられる。(前々回、私の思い違いで生誕教り、このあ会と書いたが、正しくたりから観は聖誕教会または降誕光客があふれ、なかなか前進しない。

写真のように教会と地下洞窟というより要塞のような感じを受けるが、これは十字軍の時代に外敵のイエスが攻撃を防ぐために現在の教会に修復されたからである。



正面の入り口も小さな博士が星に導かれたことに由の来し、銀で星の形がは

なもので、「謙虚のドア」と呼ばれている。来し、銀で星の形がは

二十年前に訪れた時のめ込まれた祭壇が、多くのランプが吊り下

ガイドの説明では「異なる。星にはラテン語で、薄暗い。

教徒がベツレヘムに侵入「ここにイエス・キリ 救い主・メシアは栄

攻して来た際、聖堂内ストは生まれたまえ 光に満ちあふれ、強大

に馬に乗ったまま入り「聖誕教会はギリシャ 明るさの中にあつたの

たので、それを防ぎたい 正教会、コプト教会、ではなく、薄暗い中、

め入り口を小さくし、ローマ・カトリック教 弱か弱い幼子として生ま

た」らしく、古い入り口は、その生涯は

口の形跡が写真でもよく見られる。口は、その生涯は

くわかる。

謙虚のドアから頭を低くして聖堂内に入る

と、床のどこどころに穴が開いてあり、モザイクの床が見える。

これが最初に建てられたイエス・キリストが

た時の床である。しば生まれたとされる場所

した。